

# 専攻科だより

## — 海上輸送システム工学専攻第1期生修了 —

専攻科長	葛目幸一
海上輸送システム工学専攻主任	多田光男
生産システム工学専攻主任	藤本隆士

平成19年9月19日海上輸送システム工学専攻・第1期生の修了式が挙行されました。1期生10名全員が、学位授与機構の審査に見事合格し「学士」の資格を取得できたことは、1期生に相応しい成果であると思います。ここでは、修了生の一言メッセージを紹介します。

**岩本:** 私が本校商船学科に在籍していた当時は、商船大学への進学を考えていました。しかし、本校に専攻科が設置されることが確実となったため専攻科への進学を決めました。専攻科へ進学して本科との違いを感じた部分は、少人数制のため分かりやすく、より濃い内容での講義や充実した特別研究でした。また、自分の研究テーマで学会発表を行うことができるためプレゼンテーション能力や文章作成能力が格段に向上したと感じています。もちろんですが、辛いことや大変なことも沢山ありました。しかし、これらを乗り越えることで自分も大きく成長することができたのだと感じています。私は今後、就職しますが本校の本科ならびに専攻科で学んだことを活かしていきたいと思います。放後になりましたが、終始ご指導ご鞭撻を頂いた先生方に御礼を申し上げます。

**早柏:** 専攻科の第一期ということもあり、何かと大変なことがありました。いざ修了ということになるとこの2年間が早く感じます。入学当初はいろいろとご迷惑をかけましたが、無事に海上輸送システム工学専攻を修了することができました。本当にありがとうございました。

**吉田:** 専攻科での2年間は勉強や部活などとても充実した時間だったと思います。これから社会に出ても、ここでの経験を生かして頑張っていきます。

**石川:** 2年間の短い間でしたが、学位を取得するために研究を日々行い、様々な方に助けてもらい、学位を取得できたことを嬉しく思います。今までお世話になった方々どうもありがとうございました。

**福万:** 私は本科生の頃から、コミュニケーション力に欠けていると感じていました。専攻科に入学後はコミュニケーション力を養うことを念頭におき、自分の意見を積極的に発言すること、学会等を活用して人前で話す訓練をすること、専攻科の仲間達と親睦を深めることに心がけました。また、専門的な知識の修得については、研究を行う上で最も必要な、論文を作成する能力、実験を遂行する能力を高めることに重点をおきました。担当教員と実験に関する話しをマンツーマンで行うことで、自分の意見を相手的に伝える力と研究に対する姿勢が身についたと思います。私は今後、大学院へ進学します。専攻科での2年間で得られたものは、大学院に進学後も必ず役に立つと信じています。

**玉田:** この度、海上輸送システム工学専攻を無事に修了出来た事を嬉しく思います。本科生の頃から考えると、だいぶ長い時間を弓

削で過し教官方には大変お世話になり心より感謝しております。この専攻科で培った技術と知識を持って社会で頑張っていきたいです。そして、また弓削に帰って来たときはよろしくお願ひします。ヤツネ。

**岡野:** 私は、専攻科の2年間で多くの事を学ぶことができたと思います。特に多くのことを学んだのが特別研究です。専攻科ではこの特別研究に重点をおいて、研究に充てる時間も長く、分からないことをただ教官に聞くのではなく、自分自身で調べる時間がありました。また、研究発表の機会も多くあるので、研究の問題点等も見つけやすく、より深く理解することができたと思います。専攻科での授業も本科の頃と比べ高度になり苦労はしましたが、社会へ出てもここで学んだことを活かすことができるよう鋭意努力していきたいです。

**竹林:** 「専攻科では、人様に自分の意見を伝える訓練をさせてもらったように思う。特別研究は卒研と異なり、自分で調べて行動しなければならぬ。そして、数回の発表の場で人に伝えなければならぬ。人前で発表し、質問されることで、研究内容を理解し、自信も持てるようになり、試験にも合格出来たと思う。また、講義内容も本科とは異なり、現在の海運会の主流である船舶管理についての内容が中心であった。このことから海運会を全体的な目線で見られるようになった。専攻科は短い身に着くスキルは本科よりも多く、深かったように思う。今後も専攻科1期生の名に恥じないように頑張っていきたい。」

**山下:** 最初は専攻科に興味すら持ちませんでした。しかし、航海訓練所の休暇中に教官に進められ、学士を修得でき2年間継続して同じ研究ができるということに興味を持ち、専攻科入学を決意しました。私は専攻科入学まで何事も教官に言われてから行動することが多かったと思います。しかし、特別研究を進めていくうちに自分で考え行動することが出来るようになったと思います。専攻科に入学し知識も増えたと自分では思います。まだまだ勉強不足などありますが、専攻科で得られた知識と技能は進学や就職の際に活かすことが出来ると思います。

**栗本:** 専攻科に入学して2年間で多くのものを得ることができました。まずは授業の形式ですが、少人数で講義を行うので質問等もしやすく、また、講義では自分で調べた事の発表を行う講義もあり、理解度をさらに深められたと思います。また、特別研究では、多くの文献等を読むことによって文章力が向上しました。また学会発表などが多くあり、プレゼン能力も格段に向上しました。そして、専攻科では研究発表会も多くあり、他高専の方々からの質問等をたくさん受ける事で、更に研究について深く勉強しようという意識が高まりました。これから社会人になっていくために必要な能力を鍛えられたと思います。本科や専攻科で学んだ事は大きな経験となったと思います。今までご指導してくださった先生をはじめ関係者の方々に心より感謝いたします。